

14人の会計人に聞いた！ 財務維新を 選んだワケとは

財務維新が選ばれる
その秘密とは？



財務維新は、当社の業歴30年の悲願

株式会社YKプランニング
代表取締役 税理士 行本 康文



経験による“勘”査ではなく
ITを駆使した監査で品質と生産性の確保を！

ワタナベ会計事務所
所長 渡邊 也寸志 5



「MASがやりたくてしょうがない」
そんなスタッフ達のために業務の標準化と効率化を

株式会社本宮会計センター
代表 鈴木 正人 6



『財務維新』で社内の業務を改革！独自の標準化スキルと社員教育で質の高いサービスを提供する

リッチフィールド税理士法人
公認会計士・税理士 多田 美佐子 7



創業70年以上の地域密着型事務所。リスクを計算し、お客様と一緒に課題に向き合うことを使命とする！

大久保会計事務所
代表社員 大久保 俊治 8



より強い組織を作るため『業務維新』と『財務維新』で「人財育成」の強化を図る

税理士法人アイ・パートナーズ
代表 石渡 哲哉 9



高付加価値商品提供のため『財務維新』を活用！
社員のさらなる成長を期待

YMG林会計
代表 林 充之 10



『財務維新』で監査業務を効率化！迅速な試算表、決算書の作成から経営者への貢献を追求する

FUN税理士法人
代表社員 山岸 誠一 11



『財務維新』で業務強化！
徹底した製販分離で、低コスト・高品質を目指す

SMC税理士法人
代表 曾根 康正 12



高度なIT力と独自の仕組みで『財務維新』のポテンシャルを最大限に活用する

アイクスグループ
代表 小長谷 康 13



『財務維新』を活用した勉強会やセミナーが大好評！
お客様と職員に+「α」を提供

アルファ税理士法人
代表 山本 秀樹 14



「ワンストップサービス」の更なる強化のために『財務維新』を戦略的に導入！

株式会社ミッドランド経営
代表社員税理士 古川 吉宏 15



生産性の向上は付加価値の向上
『財務維新』を活用して更なる品質の向上を目指す

ひかり税理士法人
社員税理士 谷 淳司 16



人に仕事をつけるのではなく仕事に人をつける
そのための『財務維新』

株式会社関総研
代表 関 博 17



新規顧客先開拓の道具！？
『財務維新』を活用し、高品質サービスを手軽に提供

いちご会計事務所
代表 足立 知弘 18



福島県本宮市
株式会社本宮会計センター 代表
税理士

鈴木 正人

「MASがやりたくてしょうがない」 そんなスタッフ達のために 業務の標準化と効率化を

福島県本宮市に拠点を構える、MASにこだわりぬいた会計事務所。震災後の「これからどうなってしまうのか?」という不安を職員全員で乗り越え、これからの会計事務所のあるべき姿を追求する。スタッフのMASに対する情熱はメジャー級!

MASへの挑戦と 福島への帰郷と

岡本 福島県本宮市の人口は三万人とお聞きしていますが、この決して大きくない市場でMASに特化して取り組まれている先生のお考えをお聞かせください。

鈴木 平成四年にここ本宮に戻るまで、東京の会計事務所勤務していました。その頃から経営支援には興味を持っていたのですが、当時はバブル絶頂期で、節税対策や資産税に関する

仕事で十分にメンが食べていけない状況でした。そのまま東京にいれば現在のような考え方には至らなかったかもしれません。しかし、実際に本宮に戻ってきて目の当たりにしたのが、節税対策や資産税の仕事がほとんど無いという現実でした。

一方で経営のサポートが必要な中小企業の経営者が多数いる中で、「経営計画」との出会いがありました。東京から本宮に戻ってきた当時は、担当も無く、抱えている仕事も殆ど無かったため、朝から晩まで「経営計画」に関する本を読み漁り、時には諸先輩方の経営計画に対する考えを写真し自分の体にしみこませました。

本宮に戻ってきた二年後の平成六年から所長に就任しましたが、その当時から「MASに強い事務所を作る!」という思いで今日までできました。

震災後の不安を 事務所改革の機会へ

岡本 所長に就任されてからちょうど二十年目を迎えます

が、これまでを振り返ってMASに対する先生の思いをお聞かせください。

鈴木 間違いない事務所の流れが変わったのは震災後ですね。

震災直後は私も含め職員やお客さんも、「これからどうなるのだろう・・・?」という大きな不安に支配されていました。ただ、このままでは何も変わらないという思いから「これからどうしていくべきか?」をみんなと考え、これまで言い続けていた「MAS」を徹底的に取り組むことを再決意しました。

会議運営ノウハウの研修やMASの仕組みづくりのコンサル、顧問先の売上UPのための勉強会などに参加をして、MASを行うためのインフラにコストと時間を掛けてきました。平成二十五年には会計事務所甲子園にもチャレンジしファイナリストとして舞台に立つこともできました。現在では職員みずから「MASがやりたくてしょうがない」と言ってくれるようになりまし。私の二十年來の思いを今確実に実現できる組織ができあがりました。

そんな中「財務維新」を知り、もつと職員にMASをするための時間を与えることができること確信しました。

時間を与えることが 所長としての役目

岡本 「MASがやりたくてしょうがない」という言葉は非常に頼もしいですね。そのためにも『財務維新』の役割は責任重大ですね。

鈴木 うちの職員は体育会系が多いんです(笑)。体力と情熱は誰にも負けない職員ばかりですが、とにかく時間に追われて仕事をしています。

そこで『財務維新』のIT巡回監査を使って、標準化、見える化を行い、よりロジカルに業務を行うことで今まで以上にMASの時間を与えることを実現しようと思つてます。職員も今本気で『財務維新』を使いこなそうとしていますよ。

岡本 我々も御社の職員さんに負けないよう、情熱をもって頑張っていきます!